



抗がん剤等による ”血管痛” を軽減する 皮膚ドレッシング材



福岡大学病院 医療情報部 教授

吉田 陽一郎

分野 医学・健康

キーワード 血管痛、血管炎、血流、化学療法、予防、皮膚貼付材

概要

血管痛は、抗がん剤や浸透圧の高い点滴を投与した際に起こる現象です。様々な対処法が行われていますが、血管痛に苦しむ現状が続いており、患者さんのQOLが低下する状況が続いています。留置針を固定するドレッシング材に課題を見出し、①留置針の固定による「皮膚及び血管の圧迫予防」②末梢からの「血流確保」の改善に焦点を当てたドレッシング材を提案するに至りました。

従来の製品は、点滴の留置針を皮膚に固定することを主たる目標として開発されたのに対して、本発明は血流を確保しつつ、簡便に皮膚固定することによって血管痛や血管炎を軽減することが目的となっています。

特徴、効果、独創的な点

- 簡単に固定できる皮膚貼付材
- 血流を確保できる皮膚貼付材
- 血管痛を軽減できる皮膚貼付材

適用分野、用途

- 抗癌剤点滴時の使用
- 糖濃度が高い点滴時の使用
- その他、血管炎・血管痛が起こりやすい点滴時の使用

論文、知的財産情報等

皮膚貼付材（特許第7648135号）